

京都市内で回収されたカルガモから遺伝子検査でA型鳥インフルエンザ陽性事例を確認！

平成30年1月18日に、京都市内で回収されたカルガモ1羽の死亡個体から、今シーズン初めて近畿府県から、A型鳥インフルエンザウイルス遺伝子陽性事例が確認されました。

主な経緯等

- ・1月18日：カルガモ1羽の死亡個体を回収 同日、簡易検査「陰性」を確認
- ・1月22日：国立環境研究所にて遺伝子検査の結果、A型鳥インフルエンザウイルス遺伝子「陽性」を確認
- ・確定検査：鳥取大学にて実施中（結果の判明は1週間程度）
- ・回収地点の周辺10km圏内を野鳥重点監視区域に指定
- ・滋賀県は10km圏外

年明けの香川県家きんでの発生や東京都でも野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されていることから、発生リスクは、極めて高い状況にあります。

引き続き下記の対策の徹底をお願いします！

- ◇ 防鳥ネットの破れがないか確認し、あればふさいでください。
- ◇ 鶏舎への関係者以外の立入制限や、農場立入車両の消毒を徹底してください。
- ◇ 踏み込み消毒槽の設置・確認、鶏舎周辺の清掃・消毒(消石灰の散布)をしてください。
- ◇ 鶏へ給与する飲用水は、安全なものを使用してください。

滋賀県家畜保健衛生所

(本所) 近江八幡市西本郷町226-1 TEL:0748-37-7511 FAX:0748-37-4821 緊急携帯:090-3613-7486	(北西部支所) 高島市今津町弘川249-1 TEL:0740-22-2145 FAX:0740-22-6681 緊急携帯080-6176-8052
---	--